

# 田万里川支川における有機フッ素化合物のモニタリング調査結果（R8.5月）について

令和8年5月27日 広島県環境県民局環境保全課

## 1 概要

- 令和7年10月から12月に、竹原市及び東広島市の田万里川支川において、有機フッ素化合物（以下「PFOS等」という。）が指針値50ng/L<sup>※1</sup>を超過していることが確認された。（最大200ng/L）
- これに伴い、この地域における河川の水質の推移を継続的に監視するため、県、竹原市及び東広島市が連携し、超過地点を含む河川3地点において、令和8年5月13日にモニタリング調査を実施した。

※1 体重50kgの人が一生涯、毎日2リットル飲用したとしても、この濃度以下であれば健康に悪影響が生じないと考えられる水準

## 2 調査結果等

### (1) 調査実施日

令和8年5月13日

### (2) 調査結果（調査地点は別図参照）

- 今回調査を行った河川3地点において、引き続きPFOS等が指針値を超過していることを確認した。（70ng/L～200ng/L）

調査地点	PFOS及びPFOA（合算値、ng/L）		調査機関	指針値
	前回調査結果 R8.2月	今回調査結果 R8.5月		
① 田万里川支川 南	<u>180</u>	<u>200</u>	県・東広島市	50ng/L 〔PFOS及び PFOAの合算値〕
② 田万里川支川 西	<u>77</u>	<u>150</u>		
③ 田万里川支川	<u>57</u>	<u>70</u>	県・竹原市	

## 3 今後の対応

- 国が定めた「PFOS及びPFOAに関する対応の手引き 第2版」（令和6年11月環境省）に基づき、県は、竹原市及び東広島市と連携し、指針値を超過した河川水について、引き続き定期的な水質調査を実施し、水質の推移を監視する。

(別図) モニタリング調査地点位置図 (●河川調査地点)



電子国土 WEB (国土地理院) を加工して作成

(別表) 今回の調査結果の詳細

調査地点	濃度 (ng/L)			調査機関	指針値
	PFOS 及び PFOA (合算値)	PFOS	PFOA		
① 田万里川支川 南	200	69	130	県・東広島市	50ng/L (PFOS 及び PFOA の合算値)
② 田万里川支川 西	150	32	120		
③ 田万里川支川	70	22	47	県・竹原市	

※2 調査結果は有効数字2桁で処理した値を掲載しているため、「PFOS 及び PFOA (合算値)」の値は必ずしも「PFOS」「PFOA」の結果の合算値とは一致しない。

(参考) これまでの調査結果 (R7. 10月～)

調査地点	PFOS 及び PFOA (合算値、ng/L)			調査機関	指針値
	R7. 10-12月	R8. 2月	R8. 5月		
① 田万里川支川 南	200	180	200	県・東広島市	50ng/L (PFOS 及び PFOA の合算値)
② 田万里川支川 西	49	77	150		
③ 田万里川支川	130	57	70	県・竹原市	